

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## JPMグローバル医療関連株式ファンド | 2017年10月

- 平素より、「JPMグローバル医療関連株式ファンド」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは2013年7月26日に設定され、騰落率は設定来で+66.6%、2017年初来では+14.8%(いずれも2017年9月末時点)となっています。
- 当レポートでは、2017年初来の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイントについて、ご説明いたします。

### 年初来の医療関連株式市場の状況と当ファンドの運用状況

- 2017年の年初来の医療関連株式市場は、トランプ政権のオバマケアへの対応に不透明感があつたものの、良好な臨床試験の結果や安定した業績成長、M&A(合併・買収)の発表などが医療関連株式の買い材料となり、医療関連企業の株価は堅調に推移し、回復傾向となっています。
- 当ファンドに関しては、薬価引き下げリスクの沈静化により、有望な新薬候補を有し業績成長性が高い中小型バイオテクノロジー株が反発しました。また、臨床試験の良好な結果や新薬の承認、競合大手により高値で買収されるM&Aの例などが見られた結果、パフォーマンスは回復に転じました。

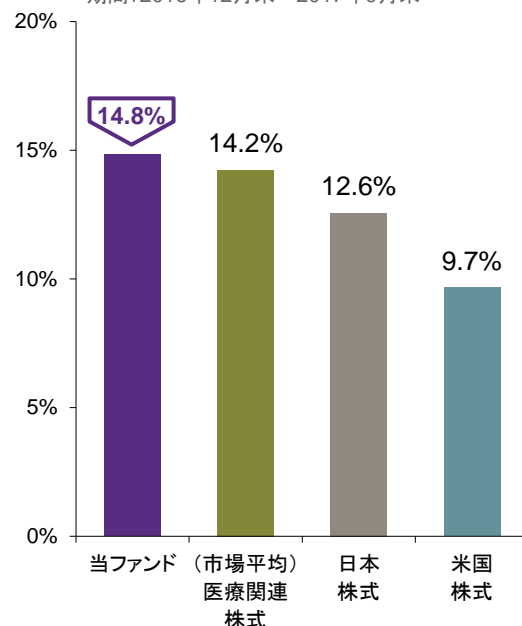
年初来の当ファンドの基準価額(分配金再投資)と主な株式市場の推移(円ベース)

期間: 2016年12月末~2017年9月末



当ファンドと各市場の騰落率(円ベース)

期間: 2016年12月末~2017年9月末



出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント、ブルームバーグ

(左グラフ) 当ファンドは2016年12月30日を100、医療関連株式、日本株式、米国株式はその前営業日を100として指数化

医療関連株式の市場平均: MSCIワールド・インデックス(ヘルスケア)、米国株式: S&P500指数、日本株式: TOPIX 株価はすべて配当込み

各指数は主な株式市場の値動きをご理解頂くことを目的に例示したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額と騰落率は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## 医療関連市場の3つの注目ポイント① がん免疫療法の併用療法で注目される主な臨床試験

- がん免疫療法の単剤療法が有効な患者数が限定的となるなか、化学療法などとの併用療法への期待が高まっています。そのような状況下、ロシュ・ホールディングとメルクが2017年内、 Bristol-Myers Squibb が2018年上半に併用療法の治験結果を発表することが予想されており、これらの治験結果で治療の有効性が確認されれば、株価上昇の材料になると考えられます。

### 主ながん免疫治療法の併用療法の臨床試験と結果公表時期

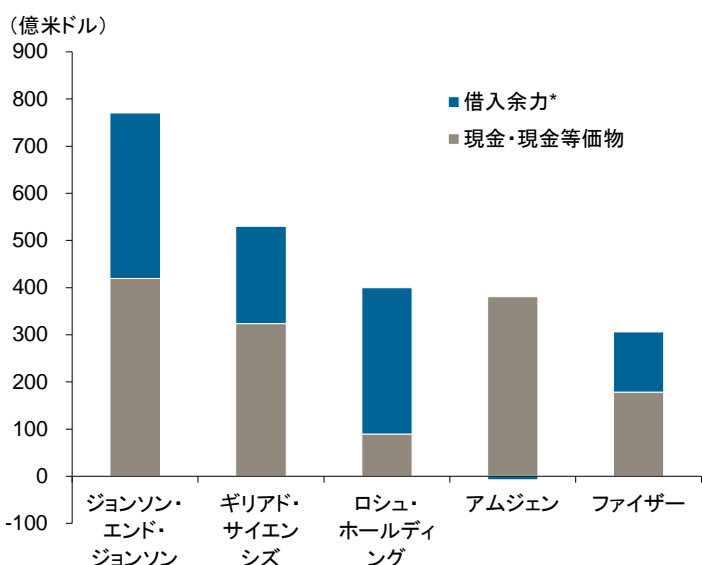
企業	がん免疫治療薬名	併用療法の臨床試験件数	フェーズ	治験結果公表予定時期
ロシュ・ホールディング	アテゾリズマブ	83	フェーズ3	2017年中
メルク	キイトルーダ	225	フェーズ3	2017年中
Bristol-Myers Squibb	オプジーボ	192	フェーズ3	2018年上半

## 医療関連市場の3つの注目ポイント② M&Aは引き続き有望なカタリスト

- 資金力はあるものの成長の源泉が不足している大手医薬品・バイオテクノロジー企業が、画期的な新薬・治療などの成長の源泉を有する中小企業を買収するケースは今後も続くと見られます。
- 豊富な資金力を有するジョンソン・エンド・ジョンソンやギリアド・サイエンシズ、アムジェン、ファイザー（以上、米国企業）、ロシュ・ホールディング、ノバルティス（以上、スイス企業）などが潜在的な買い手企業として注目されています。

### 主な大手医療関連企業の資金力

2016年度末時点



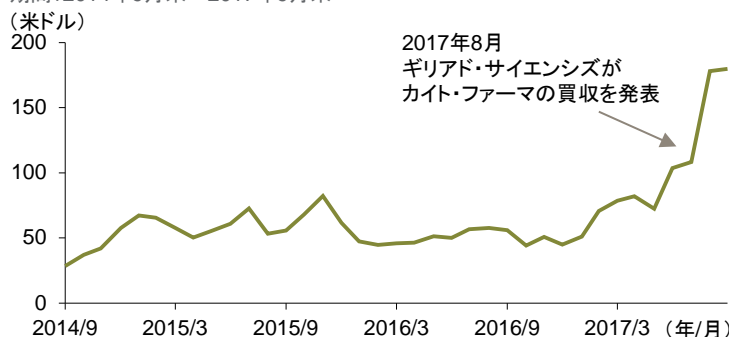
### 大手医療関連企業によるM&Aの例

被買収企業:カイト・ファーマ、買収企業:ギリアド・サイエンシズ

- バイオベンチャーのカイト・ファーマが開発したCAR-T細胞治療法は再発性・難治性の悪性リンパ腫に対する治療効果が期待されています。
- これまでの治療と比較すると圧倒的に高い効果が得られることが期待されていることから、米バイオテクノロジー企業「ギリアド・サイエンシズ」が2017年8月に同社を買収することを発表し、同社の株価は大きく上昇しました。

### カイト・ファーマの株価の推移

期間:2014年9月末~2017年9月末



ブルームバーグ、各社ホームページなど各種資料より2017年9月30日時点で取得可能な情報よりJ.P.モルガン・アセット・マネジメント作成

\* EBITDA(利払い前・税引き前・減価償却前利益)の2.5倍の水準から短期・長期借入を除いた額を借入余力として算出。

上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の上昇およびファンドへの組入れを保証するものではありません。投資銘柄の中には、グラフ期間の株価騰落率がマイナスになったものが含まれる場合があります。本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

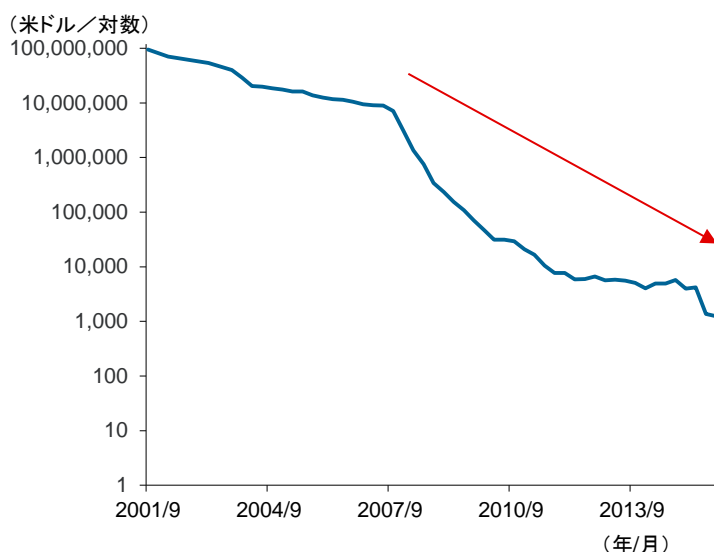
# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## 医療関連市場の注目ポイント3つの③ オーダーメイド治療の実現性

- ゲノム(生物の全遺伝情報)の解析装置(ゲノムシーケンサー)の開発が進み、2001年には約1億米ドルかかっていたゲノム解析費用が2015年には約1,000米ドルにまで低下しました。また解析に要する時間の大幅な短縮も加わり、個々の体質にあったオーダーメイド治療の近い将来における実現性への期待が高まりつつあります。
- イルミナのゲノムシーケンサーは、世界の研究所において標準機として使用されており、業界をリードする存在です。2017年1月に発表した「NovaSeqシリーズ」は、解析能力と解析速度の向上、解析費用の低下を進めるものであり、同社の株価の支援材料となりました。
- ヒトのゲノム解析は、将来「費用:100米ドル、所要時間:1時間」になると期待されており、ゲノムシーケンサーやゲノム医療関連分野に注目しています。

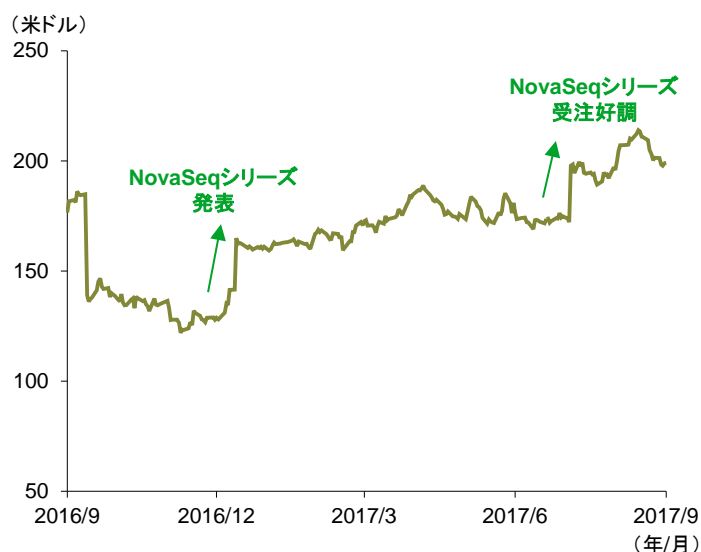
### ゲノム解析コストの推移

2001年9月～2015年10月



### イルミナの株価の推移

期間:2016年9月30日～2017年9月29日



出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント、National Human Genome Research Institute (NHGRI)、Genome Sequencing Program (GSP)

上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の上昇およびファンドへの組入れを保証するものではありません。投資銘柄の中には、同期間の株価騰落率がマイナスになったものが含まれる場合があります。

本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

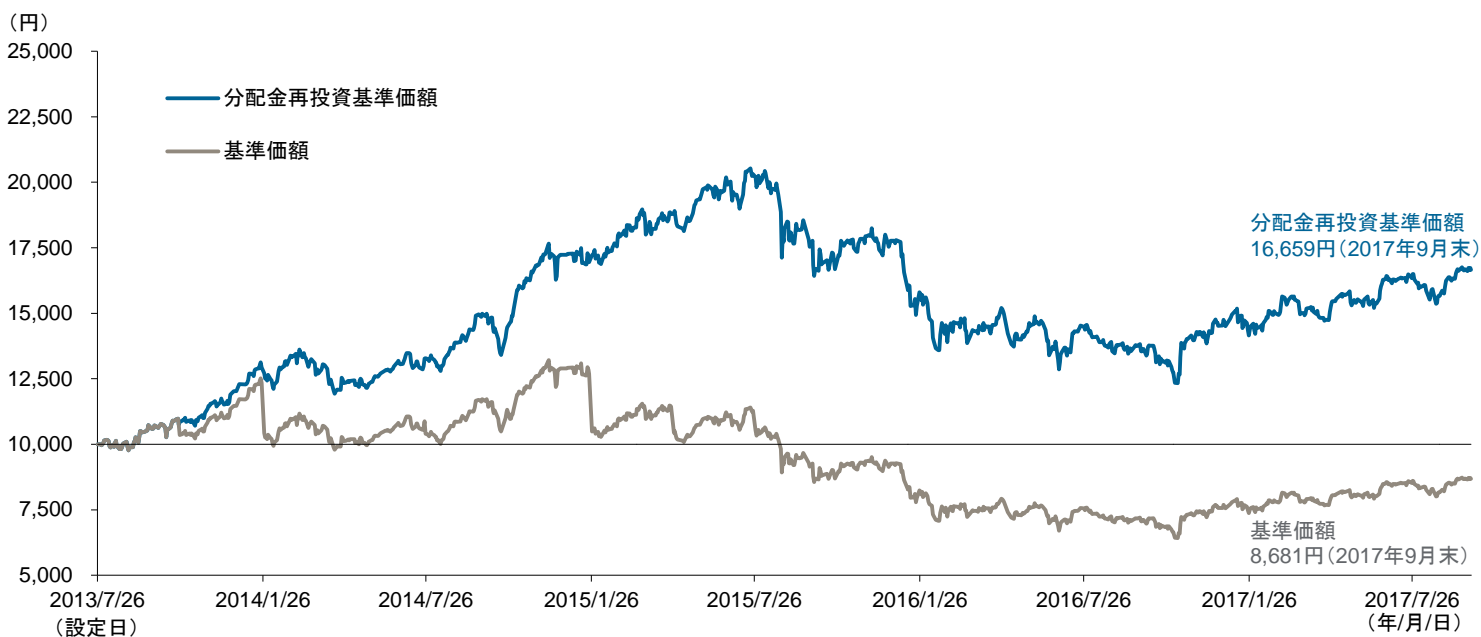
## アクティブ運用が有効な医療関連株式

- 医療関連企業の株価は、個別企業の評価が反映されやすい傾向にあるため、銘柄選択による収益機会が期待される投資対象であると考えます。
- 2017年初来の投資先ファンドにおける寄与度(以下、表をご参照)を見ても、投資先ファンドのベンチマークに組み入れられていない銘柄が上位を占めており、銘柄選択の重要性がうかがえます。

投資先ファンドにおける年初来の寄与度上位10銘柄(現地通貨ベース) 期間:2016年12月30日～2017年9月29日

順位	銘柄	投資先ファンド			ベンチマーク (MSCI ワールド・インデックス(ヘルスケア))			ベンチマーク での組み入れ
		平均組入 比率(%)	リターン (%)	寄与度 (%)	平均組入 比率(%)	リターン (%)	寄与度 (%)	
1	カイト・ファーマ	0.9	300.6	1.54	0.0	0.0	0.00	なし
2	イグザクト・サイエンシズ	1.0	252.7	1.36	0.0	0.0	0.00	なし
3	ファイブジェン	0.5	151.4	0.56	0.0	0.0	0.00	なし
4	アカディア・ヘルスケア	1.6	44.3	0.67	0.0	0.0	0.00	なし
5	ポートラ・ファーマシューティカルズ	0.6	140.8	0.53	0.0	0.0	0.00	なし
6	ノバダック・テクノロジーズ	0.6	63.2	0.50	0.0	0.0	0.00	なし
7	スパーク・セラピューティクス	0.8	78.7	0.57	0.0	0.0	0.00	なし
8	バーテックス・ファーマシューティカルズ	2.2	106.4	1.56	0.7	106.4	0.47	あり
9	テバファーマシューティカル・インダストリーズ	0.0	0.0	0.00	0.6	-50.5	-0.39	あり
10	インテューイティブ・サージカル	1.5	49.4	0.72	0.7	64.9	0.39	あり

(ご参考)当ファンドの設定来の基準価額の推移 期間:2013年7月26日(設定日)～2017年9月末



出所:J.P.モルガン・アセット・マネジメント、FactSet (上段表)投資先ファンド:JPモルガン・ファンズ・グローバル・ヘルスケア・ファンド ベンチマークは投資先ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の上昇およびファンドへの組み入れを保証するものではありません。ファンドのパフォーマンスとは異なります。(下段グラフ)基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## ファンドの特色

### 1 世界の医療関連企業の株式に主として投資します。

先進国における高齢化の進展や新興国における生活水準の向上などを背景とした医療関連企業の成長に注目します。(2017年9月現在)

- ファンド・オブ・ファンズ方式により、世界の医療関連企業の株式に投資する「グローバル・ヘルスケア・ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「マネープール・ファンド」にも投資します。
- 「医療関連企業の株式」とは、グローバル・ヘルスケア・ファンドの運用担当者がそれに該当すると判断する企業の株式をいいます。

### 2 ファンドは、年4回(1月、4月、7月、10月の各25日\*)の決算時に分配します。

- ただし、必ず分配を行うものではありません。

\* 25日が休業日の場合は翌営業日となります。

### 3 為替ヘッジは行いません。

- 投資先ファンドを通じて外貨建ての株式等に投資しますが、為替ヘッジを行わないため、外国通貨と円との為替変動による影響を受けます。

### 4 J.P.モルガン・アセット・マネジメントのグローバルなネットワークを活用します。

## 投資リスク

ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。  
投資信託は元本保証のない金融商品です。投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドは、国内外の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

## 基準価額の変動要因

ファンドは、投資先ファンドを通じて主に国内外の株式に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。
為替変動リスク	ファンドは、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。
カントリーリスク	新興国に投資した場合は、以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、株式や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。</li> <li>・株式・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。</li> <li>・先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。</li> <li>・税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。「新興国」とは、国内経済が成長過程にあると判断される国をいいます。</li> </ul>

## 注意事項

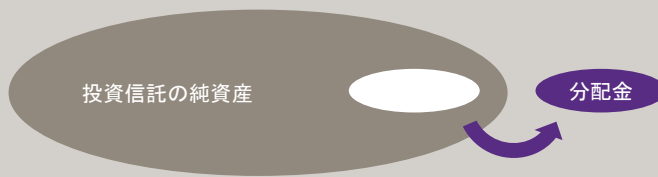
- 委託会社が指定する日には、購入・換金申込みの受付は行いません。
- ファンドは年4回決算を行い分配を行うことを目指しますが、分配が行われない可能性があります。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

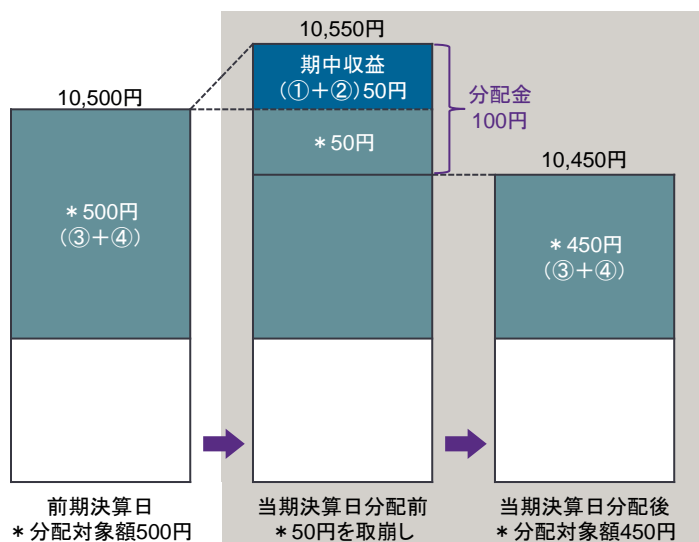


- 分配金は、決算中に発生した収益（経費\*1控除後の配当等収益\*2および有価証券の売買益\*3）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも決算期中におけるファンドの収益率を示すものではありません。

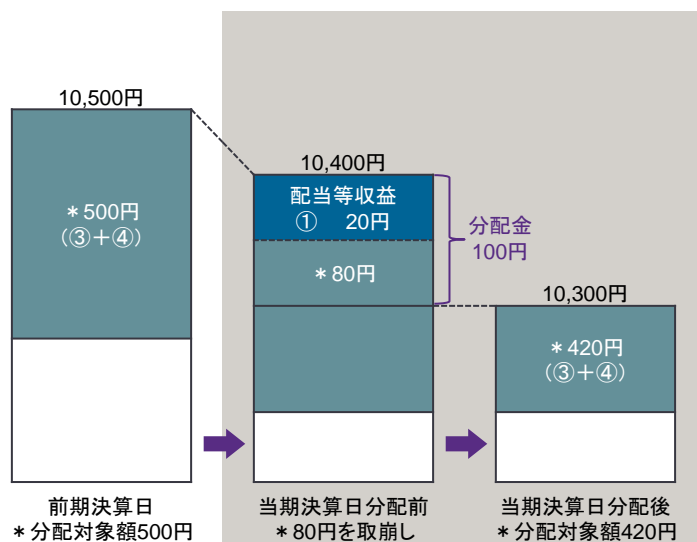
\*1 運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用・手数料をいいます。 \*2 有価証券の利息・配当金を主とする収益をいいます。 \*3 評価益を含みます。

### 決算中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



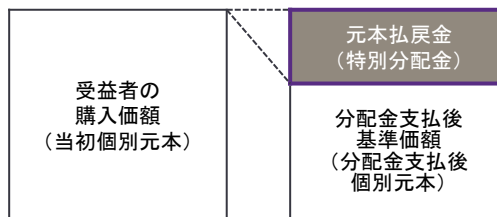
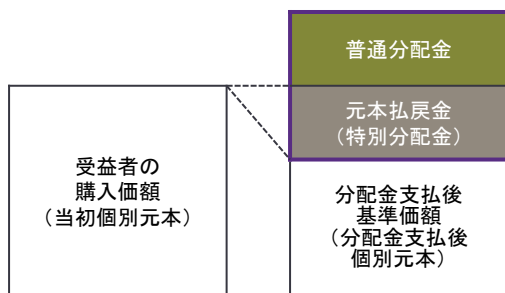
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の有価証券の売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分には非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記はイメージであり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ただし、自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、1円以上1円単位とします。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。
換金代金	原則として換金申込日から起算して7営業日目から、販売会社においてお支払いいたします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。ただし、販売会社によっては受付時間が異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	平成25年7月26日から平成35年7月25日(休業日の場合は翌営業日)までです。
決算日	1月、4月、7月、10月の各25日(休業日の場合は翌営業日)です。
収益分配	年4回の決算時に、委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
課税関係 (個人の場合)	課税上の取扱いは、「公募株式投資信託」となります。 平成29年9月末現在、普通分配金が配当所得として、換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)が譲渡所得として、それぞれ20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率が適用され、課税されます。 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	手数料率は <b>3.78%(税抜3.5%)</b> を上限とします。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 (購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込)) 自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
信託財産留保額	かかりません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々のファンドの純資産総額に対して年率1.3284%(税抜1.23%)がファンド全体にかかります。
投資先ファンドの 運用管理費用	投資先ファンドの純資産総額に対して以下の費用がかかります。 グローバル・ヘルスケア・ファンド:年率0.50% (注)消費税等はかかりません。当該運用管理費用は、ファンドの信託財産から費用として支払われます。 マネーブルー・ファンド:年率0.1026%(税抜0.095%)
実質的な負担 (概算)	純資産総額に対して <b>年率1.83%程度(税抜1.73%程度)</b> がかかります。 グローバル・ヘルスケア・ファンドに純資産総額の99.9%を投資した場合のものです。投資先ファンドの組入比率により、実際の負担と異なる場合があります。
その他の費用・ 手数料	「有価証券の取引等にかかる費用*」「外貨建資産の保管費用*」「信託財産に関する租税*」「信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用*」「グローバル・ヘルスケア・ファンドの運用管理費用*」「ファンドの目論見書の印刷に要する実費相当額*」「グローバル・ヘルスケア・ファンドの事務管理費用(同ファンドの純資産総額に対して上限年率0.15%)」「ファンド監査費用(純資産総額に対して年率0.0216%(税抜0.02%)、上限年間324万円(税抜300万円))」 * 運用状況等により変動し、適切な記載が困難なため、事前に種類ごとの金額、上限額またはその計算方法等の概要などを具体的に表示することができないことから、記載していません。

ファンドの費用の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載していません。

ご購入の際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

本資料では、投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズーグローバル・ヘルスケア・ファンド」(各シェアクラスを統合したファンド全体)または、その「Xクラス(円建て)」を「グローバル・ヘルスケア・ファンド」といい、投資先ファンド「GIMジャパン・マネーブルー・ファンドF(適格機関投資家専用)」を「マネーブルー・ファンド」といいます。

# 足元の運用状況と医療関連市場の3つの注目ポイント

## 委託会社

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## 取扱販売会社について

- 投資信託説明書(交付目論見書)は下記の販売会社で入手することができます。
- 登録番号に「金商」が含まれているものは金融商品取引業者、「登金」が含まれているものは登録金融機関です。
- 株式会社を除いた正式名称を昇順にして表示しています。
- 下記には募集の取扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集の取扱いを行っている場合があります。
- 下記登録金融機関(登金)は、日本証券業協会の特別会員です。

2017年10月2日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会
株式会社 SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
株式会社 愛知銀行	東海財務局長(登金)第12号	○			
株式会社 あおぞら銀行	関東財務局長(登金)第8号	○			○
株式会社 阿波銀行	四国財務局長(登金)第1号	○			
株式会社 イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社 大垣共立銀行	東海財務局長(登金)第3号	○			○
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	
株式会社 沖縄銀行	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○			○
株式会社 新生銀行	関東財務局長(登金)第10号	○			○
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社 但馬銀行	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社 千葉銀行	関東財務局長(登金)第39号	○			○
中銀証券株式会社	中国財務局長(金商)第6号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			
株式会社 西日本シティ銀行	福岡財務支局長(登金)第6号	○			○
西日本シティTT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	関東財務局長(金商)第197号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○		○	○
株式会社 ゆうちよ銀行	関東財務局長(登金)第611号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

## 本資料で使用している指数について

- MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。各インデックスの円ベースは、同社が発表した各インデックスを委託会社にて円ベースに換算したものです。
- S&Pの各指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが発表しており、著作権はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属しています。各インデックスの円ベースは、同社が発表した各インデックスを委託会社にて円ベースに換算したものです。
- TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所及びそのグループ会社(以下、「東証等」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウは東証等が所有しています。なお、ファンドは、東証等により提供、保証または販売されるものではなく、東証等は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。

投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金および保険ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認ください。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。